

第72回

北海道労働者共済生活協同組合通常総代会が終了しました

～2024年度事業報告および2025年度事業計画が確認されました～



2025年7月30日(水)、「第72回 北海道労働者共済生活協同組合 通常総代会」および「第8回 こくみん共済coop <全労済>北海道推進本部 組合員代表者会議」をホテルポールスター札幌にて開催いたしました。今総代会(代表者会議)には、総代(組合員代表者)130名中、書面議決等を含む112名が出席し、総代会では、「2024年度事業報告および決算報告承認の件」などの9議案、代表者会議では、「2024年度北海道推進本部推進活動報告について」などの3つの付議事項について、全体で承認されました。



2024年度は、日本銀行による政策金利0.25%への利上げ実施や政府による「新N

ISA」の開始など、金融情勢がコロナ禍を経て大きく変化をとげました。多様なライフスタイルに応じた資産形成ニーズの高まりを受け、こくみん共済coopの取り組みとして、2025年4月予定利率改定をふまえて個人年金共済の販売を再開するなど「こくみんLifeサポート」展開と合わせてお役立ちをすすめてまいりました。

2025年度は、「こくみん共済coop 中期経営政策2022～2025～変革と創造～」の最終年度となります。これまで確立してきた「お役立ち」と「共創活動」にデジタル技術を融合した「こくみん共済coop スタイル」をさらに進化させ、次の中期経営政策につなげていく必要があります。とりわけ、事業の持続的成長のためには、「新しいたすけあい」を実践していくことが必須であると考えており、そのことをもって組合員の皆さまへのお役立ちを継続してまいります。

自然災害の頻発化・激甚化や、混迷を極める国内外の諸情勢、好転がみられない人口減少と少子高齢化等、深刻な課題が山積していますが、こくみん共済coopは、組合員の暮らしを支える共済事業や防災・減災の啓発活動等を通じて、安心できる暮らしの実現や社会課題の解決に向けて努力を重ねてまいります。組合員・関係諸団体の皆さまの引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

自然災害の頻発化・激甚化や、混迷を極める国内外の諸情勢、好転がみられない人口減少と少子高齢化等、深刻な課題が山積していますが、こくみん共済coopは、組合員の暮らしを支える共済事業や防災・減災の啓発活動等を通じて、安心できる暮らしの実現や社会課題の解決に向けて努力を重ねてまいります。組合員・関係諸団体の皆さまの引き続きのご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

北海道生協連

第2回

理事会

8月21日(木)ポールスター札幌にて齋藤理事(北大生協)を議長に選出し、開催致しました。冒頭、中島会長の開会挨拶ののち、以下の事項について提案があり、承認されました。

【議決事項】

1. 会員生協役員改選に伴う理事会オブザーバー参加要請の件
2. 2025年度役員報酬明細決定の件
3. 代行順位の件

【審議事項】

1. 70周年記念事業企画検討委員会報告
2. 70周年記念パンフ作成スケジュール及び依頼
3. 子どもの居場所づくり応援基金の件
4. LPガス問題の進捗
5. 協同組合ネット北海道の取組進捗
6. ほっかいどう若者応援★学生プロジェクト進捗

【報告事項】

1. 一般活動報告

2. 第69回総会報告及び、総会議事録
3. 2024年度第5回理事会及び第1回理事会報告
4. 第1回監事会報告
5. 4～7月決算報告
6. こども食堂活動報告
7. 北海道からの通知及び友好団体・協賛・後援の件
8. 日本生協連北海道・東北地連報告の件

【会員報告】

北大生協では、全国七大学体育大会に関する食事提供では、北海道ならではのメニューをぎょれん・JA北海道中央会の協力で実現したことや他大学のご当地メニューを食堂で提供したことが報告されました。

さっぽろ高齢者生協では、施設でのふだんの暮らしを豊かにする目的で施設内イベントを実施し好評を得ていることが報告されました。

コープさっぽろは、「ぼくらの未来は、ぼくらが考える」と題し、平和スタディツアーに参加した中高生の報告やワークショップ・展示など盛りだくさんの内容で9月7日(日)11:00～15:00『ピースフォーラム in チ・カ・ホ』を開催(参加:無料)することが報告されました。

チラシ参照願います

ぼくらの未来は、ぼくらが考える ピースフォーラムinチ・カ・ホ

主催/生活協同組合コープさっぽろ 共催/札幌市



+++++
+++++
+++++
+++++
+++++

戦後80年の今、あなた自身の「平和」を考えてみませんか？
広島を訪れた生徒の声や作品を通して、大切な人と平和を見つめ
直すきっかけとなるイベントです。

日時 2025.9.7(日) 11:00~15:00

場所 札幌駅前通り地下歩行空間(チ・カ・ホ)
北大通り交差点広場 (東側)



タイムスケジュール 参加無料・入退場自由

11:00~15:00

- えほん「へいわとせんそう」パネル展&えほん紹介コーナー
- 札幌市「平和へのメッセージ」優秀賞作品展示
- 戦争ほうき工作キット販売、戦争ほうきワークショップ
- メッセージウォール「あなたにとって平和を感じる瞬間は？」



13:00~15:00

- コープさっぽろ平和スタディツアーに参加した生徒による報告
- 札幌市「平和訪問団」に参加した生徒による報告
- 生徒による平和を題材にしたディスカッション



詳細はこちらから



2025年度

北海道大学フレッシュマンセミナー『協同組合を学ぶ』

～未来へつなぐ協同の輪：北大生が体験した北海道の今～

実施報告

2025年8月5日から8日までの4日間、今年で3回目となる北海道大学の1年生を対象としたフレッシュマンセミナー『協同組合を学ぶ』を開講しました。この人気の講座には、定員40名に対し130名を超える応募がありました。

本講座は、北海道の農山漁村が直面する社会経済的な課題に対し、協同組合が果たす役割を現場で学び、学生自らが課題解決の力を養うことを目的としています。協同組合ネット北海道に加盟する14の協同組合組

織が連携し、J A中央会・ホクレン・北海道漁連・北海道森連・コープさっぽろ・北海道生協連が担当事務局となり、座学とフィールドワークを組み合わせた充実したプログラムを提供しました。

1日目

大地の実りと森の恵みを 支える生産現場へ

初日、学生たちは札幌を出発し、当麻町へ向かいました。

最初に訪れたJ A当麻の野菜等集荷場と精米工場では、きゅうりやスイカ、ミニトマトなどが最新技術で選果・出荷される様子を見学しました。参加した学生からは、「糖度が基準に満たないスイカは出荷しないという徹底した品質管理に、ブランドを守る強い意志を感じ驚きました」との感想が寄せられました。

続いて当麻町森林組合では、原木が製品になるまでのダイナミックな製材工程を間近で見学。大きな機械音と木の香りに包まれながら、学生たちは「木材を100%無駄なく利用するという説明に感心し、林業のイメージが変わりました」と、資源を余すことなく活用する姿勢に感銘を受けていました。

その後、鷹栖町の上川ライスターミナルを訪れ、北海道米の品質を支える大規模な貯蔵・品質管理施設を見学後、宿泊施設のネイパル深川では夕食等を済ませたあと、1日目の振り返り交流会を行い、同行した担当事務局も各グループに加わり1日を通じて学んだこと、感じたことを共有し合い1日の研修を終えました。



2日目

浜の活気と地域の暮らしを支える取り組み

2日目は日本海側へ移動し、羽幌町の北るもい漁業協同組合から研修を開始しました。ここでは、水揚げされたばかりの新鮮な魚介類が並ぶ様子や、マイナス30度の冷凍倉庫を見学する貴重な体験も行いました。学生からは「競り直前のマグロや、壁のように積まれた氷は圧巻でした。普段見ることのできない漁業の現場に感動しました」という声が上がりました。

午後からは、生活協同組合コープさっぽろの取り組みを視察。「道の駅 風W（ふわっと）とままえ」で移動販売車「カケル便」と合流し、コンパクトな車内に豊富な商品が並ぶ様子に驚きながら、実際に

買い物を体験しました。ある学生は「過疎地で暮らす人々にとって、このサービスがいかに重要か実感しました。まさに地域に貢献する活動ですね」と語りました。

その後、コープさっぽろの店を訪れ、店舗のバックヤードを見学。特に、微生物の力で生ゴミを処理する機械「POITO」には多くの学生が関心を示し、「環境に配慮した先進的な取り組みに驚きました。全国に広がってほしいです」と話していました。



3・4日目

座学で深まる協同組合への多角的な理解

フィールドワークを終えた後半の2日間は、北海道大学の教室で座学を行いました。農業、漁業、林業、金融、共済、医療、福祉、購買など、多岐にわたる分野の協同組合担当者がリレー形式で講義を行い、それぞれの事業内容や理念、そして現代社会で果たす役割について解説しました。

参加した学生からは、次のような感想が寄せられました。

- 「この講座を受けるまで協同組合をほとんど知りませんでしたが、株式会社との違いや、組合員一人ひとりの暮らしを支えるという理念がよく分かりました」

- 「多くの組合の話を聞く中で、それぞれが連携し、地域社会全体を支えていることが理解できました」

これらの感想から、学生たちの協同組合への理解が大きく深まった様子がうかがえました。



この4日間の学びを通じて、学生たちは北海道の第一次産業の現場や地域社会が抱える課題、そしてそれらに向き合う協同組合の役割を肌で感じてくれたものと確信しています。6月に開催した『北海道協同組合就活サミット』や今回の『北海道大学講座』のように、未来を担う若い世代に協同組合の価値を伝え、協同組合に興味を持つ学生を増やしていくこの取り組みを、私どもはこれからも大切に続けていきたいと思ひます。

北海道・いじめ・虐待・自殺・・・どう向き合う？

学習交流会開催！

7月19日土曜日13:30より、難しく困難な社会的問題でもある表題テーマにて学習交流会が65名の運営者の皆さんが集い「国際ホール」にて開催致しました。現実には学校現場で日常的に発生する問題に私たち大人がどう向き合うのが良いのか？いじめ問題審議会会長でもある飯田教授（北翔大学）より事例を基にご示唆を頂きました。如何に「深刻化」

させないか！地域での繋がりの中での解決する大人の知恵！何よりも目を逸らさない事への大人の責任！何よりも縁側の様な温かい居場所づくりへの地域社会での共有！参加者一同、後半のグループ交流では更に互いの取り組みや、困難な課題への共有化について率直な意見交換を行い3時間に及ぶ充実した学習交流会に参画を頂きました。



飯田講師と飯田共同代表



道・保健福祉部中村課長様



札幌市子ども未来局加藤課長様

第3回・こども食堂パネル展 開催！

8月1日～2日 チカホ北1条 憩いの広場

今年で3回目となるパネル展！本年は展示パネル数も増え、工夫し広がり続ける多様な取り組みについて見て頂ける様用意した、各種イベントパネルに注目が集まっていました。また運営者提供のチラシも大幅に増え、各地域での広範な広がりについて共

有を頂きました。私の住んでいるエリアは？私の学校区での取り組みは？等々、道行く市民、道民の皆さん延べ600人がチラシやパンフを手にとってパネル展を楽しんでおられました。

